

読書推進運動


 公益社団法人
読書推進運動協議会
 〒101-0051
 東京都千代田区神田神保町1-32
 出版クラブビル6階
 TEL 03(5244)5270
 FAX 03(5244)5271
 発行人 小塚 昌弘
 編集人 片岡 伸子
 定価 60円

No.660

- ★「若い人に贈る読書のすすめ」掲載図書決定(2頁)
- ★「全国優良読書グループ」表彰団体決定(3頁)

会員の購読料は
会費の中に含まれる



「若い人に贈る読書のすすめ」によせて

世界は驚きにあふれている —「わからない」から始めよう—

翻訳家

宇野和美

「本を読む」という命令形ほどむなししいものはないと常々考えていますが、その一方で、本を読んだらいいのにといい少々おせっかいな気持ちもあります。それは、読書が自分に多くのおいしいものをもたらしてくれたという思いがあるからです。

私は大の読書家といえるような子どもではありませんでしたが、小さいころから外国のおはなしを読むのが好きでした。何度も転校をして、学校社会になじめなかつたせいか、日本のおはなしは嘘くさくさ思え、「ここではないどこか」の物語に憧れました。今いる場所から離れることのできない子どもはなしは解放であり希望でした。自分が属する社会とは異なる価値観や生活様式や考え

なる価値観や生活様式や考え、多様な人びとや社会に出会えることが、すべては理解できなくとも楽しかったのです。今ではメディアがさまざまに映像を提供してくれますが、書物の中にある多様性は圧倒的に幅広く、手がこんでいます。ことばを介して受け手のペースでゆつくりと届くという特性が、読書を豊かなエンターテインメントにします。また、本を通して他者を知ることと自分を客観視でき、選択肢がひとつではないのを知り、追い詰められていた心がラクになるという経験をお持ちの方も多いことでしょう。

ところが、最近、翻訳ものは売れないと言われ、刊行点数が減少しています。出版社は私企業であり、利益がなければなりたないの仕方がない面もあります。でも、それなら売れる本だけ作られればよいのでしょうか。一度に売れなくても、じわじわと読まれる本だつて、なくなつては困るでしょう。

翻訳する本を求めて原書を読むとき、私が出会いたいのは、「今人気のある本とは別のおもしろさ、新しい発見のある本」であつて、二匹めのドジョウのような本ではありません。けれども、「なじみのない本」「わかりにくい本」は、読者の子どもに敬遠されがちということも耳にします。でも、そんなになにもかも「わからなければならぬ」ものでしょうか。荒井裕樹著『まともでない言葉を生きる』(柏書房)で、「人は自分の想像力の範囲内に収まるものしか評価しない。(中略)人の想像力を超えていきなさい。」(202ページ)という文章に出会いました。読書は本来、想像力を狭めるのではなく、既存の枠組みや想像力を超える営みではないのでしょうか。

だからこそ、本を手渡す立場にいる方が、広い視野から選んだ多様な本を子どもに差し出してほしいと心から願います。人気の本ばかりではなく、目立たなくても滋味的な本を含めて、「押しつけ」は困りますが、おいしい食べものをすすめる自然さで、「これ、おもしろかったよ」と伝えることが、多様な本の出版への後押しにもなります。

外国の作品で圧倒的な違いに出会ったとき、いいとか悪いとか判断するのはではなく、違いを違いとして受けとめ尊重し、考えることで、視野が開けていくように思います。

世に送り出した本が、読者にとつて世界への窓となることを願いつつ、翻訳者は今日もことばと格闘しています。

2023 『若い人に贈る読書のすすめ』実施

公益社団法人読書推進運動協議会・事業委員会は、2023『若い人に贈る読書のすすめ』推薦図書24点を選定しました。

今年も例年どおり、道府県読書推進運動協議会に「若い人にぜひ読んでもらいたい本」の推薦を依頼、40の読進協から計92点の書目の推薦をいただきました。

もつとも推薦が多かったのは、上橋菜穂子の『香君 上・下』、又吉直樹・ヨシタケシンスケの『その本は』で、4つの読進協から推薦がありました。ついで、畑村洋太郎の『やらかした時にどうするか』、瀬尾まいこの『掬えば手には』、木村真実ほかの『生きるために必要な「法律」のはなし』が3つの読進協から推薦がありました。

事業委員会の書目選考基準は、①各出版社1点 ②複数県推薦書

目の検討 ③対象読者向きか ④そのほか各委員が特別に推薦したい書目などを勘案して検討。本年度は新型コロナナウイルス感染症対策のため、メールでの投票と意見交換を行い、最終的に委員会全体で24点を確認、決定いたしました。

本年度も、この推薦図書リーフレットを21万部製作、道府県の読進協・都道府県立図書館を通じて各公共図書館に、日本出版取次協会の協力で取次会社を通じて全国の書店に配布を行い、有効に活用していただく予定です。

リーフレットの出来は12月上旬を予定。2022年内の発送は12月22日(木)受付分までです。成人式でご利用予定の方はご注意ください。卒業式、読書グループ、学校での読書指導、地域の文化活動などのご利用も歓迎です(部数にかぎりがあります)。ご希望の方は公益社団法人読書推進運動協議会事務局までお問い合わせください。

03-5244-5270

e-mail info@dokusyo.or.jp



「若い人に贈る読書のすすめ」リーフレット掲載書名一覧

著者名	書名	定価	出版社
上橋菜穂子 又吉直樹 ヨシタケシンスケ	香君(上・下) その本は	各一八七〇 一六五〇	文藝春秋 ポプラ社
畑村洋太郎	やらかした時にどうするか	九二四	筑摩書房
瀬尾まいこ	掬えば手には	一五九五	講談社
本村真実・高橋麻理貴 野添久・青木佳樹・監修 ゴシラレトド 横山和江(訳)	大人になる前に知ってほしい生きるために必要な「法律」のはなし 目で見ることがばて話をさせて 「死んでもいいけど、死んじやだめ」と僕が言い続ける理由	一五九五 二三一〇	ナツメ社 岩波書店
大空 幸星	「死んでもいいけど、死んじやだめ」と僕が言い続ける理由	一五六二	河出書房新社
坪田 信貴	やりたいことが見つからない君へ	九九〇	小学館
神内 聡	大人になるってどういうこと?	一六五〇	くもん出版
堀米 雄斗	いままでとこれから	二二〇〇	KADOKAWA
高橋源一郎	ぼくらの戦争なんだぜ	一三二〇	朝日新聞出版
アン・ジョンセン 御船典子(訳)	運動脳	一六五〇	サンマーク出版
加納 朋子	空をこえて七星(ななせ)のかなた	一七六〇	集英社
佐藤 健 神木隆之介	みやぎから、	一九八〇	NHK出版
吉井 奈々	オトナ女子のすてきな語彙力帳	一五四〇	ダイヤモンド社
広瀬浩二郎	世界はさわらないとわからない	一〇三四	平凡社
谷川俊太郎 合田里美(絵)	ぼく	一八七〇	岩崎書店
高橋源一郎 高橋源一郎(訳)	限りある時間の使い方	一八七〇	かんき出版
いづつか、未来で 白痴病ユーチューバーが 伝えたいこと	いつか、未来で 白痴病ユーチューバーが 伝えたいこと	一七〇五	主婦と生活社
にゅーいん	誰にも嫌われず同調圧力をサラリとかわす方法	一五四〇	祥伝社
大嶋 信頼	「コミュ障」のための社会学	一六五〇	中央公論新社
岩本 茂樹	知識ゼロからわかる! そもそも民主主義ってなんですか?	一七六〇	東京新聞
宇野 重規	もつと早く言っちゃえ。50代の私から20代の私に伝えたいこと	一六五〇	扶桑社
一田 憲子	最後の一年	一九八〇	毎日新聞出版





2022年度・第55回 全国優良読書グループ表彰 — 道府県読進協推薦 —

公益社団法人 読書推進運動協

議会で、第76回「読書週間」事業として、11月3日(祝)を中心に、各道府県の読書推進運動協議会を通じて、「第55回 全国優良読書グループ(下表)」の表彰を行いました(一部選考中)。

読書グループの結成促進と育成強化は、読書推進運動の根幹をなすものとして、公益社団法人 読書推進運動協議会は結成以来、活動の第一目標とし、道府県各読書推進運動協議会と連携して、その育成・発展に努力を重ねています。

この事業は、各読書推進運動協議会の推薦により、一地域一グループを表彰するもので、原則として5年以上の活動を続けているグループを推薦・表彰の対象としています。

現在、読書グループの活動は、読書会、実演活動、家庭・地域文庫、障がいを持つ方への読書支援、図書館サポートなど、多岐にわたつ

ています。

全国の読書グループに敬意を表し、数ある読書グループを対象にご推薦の労をとられた、各道府県

読書推進運動協議会のみなさまに、深く感謝いたします。
推薦された優良読書グループには、その業績を讃え、公益社団

優良読書グループ名

優良読書グループ名	所在地	代表者(世話人)名
おはなしの会ビビ	北海道 上川郡 東川町	脇坂 百美子
親子読書会「わっこの会」	青森県 十和田市	木村 明美
読書ボランティア「ききみみずきん」	岩手県 九戸郡 洋野町	木村 美奈子
「おはなしほっとけーぎ」	宮城県 気仙沼市	小野 寺明子
昭和おはなしかい	秋田県 湯上市	進藤 聖子
絵本とおはなしの会「フレデリック」	山形県 最上郡 大蔵村	長沼 弘美
「お話しボランティア」	福島県 本宮市	塩田 月子
「お話しボランティア」	茨城県 那珂市	加藤 智子
瓜連おはなしの会ルピナス	栃木県 矢板市	中嶋 加代子
図書館友の会 えほんひろば	埼玉県 日高市	新堀 律子
スター☆ガール	千葉県 鎌ヶ谷市	渡邊 みどり
鎌ヶ谷市子ども劇場	新潟県 新潟市	渡邊 純子
おはなしの泉	富山県 水見市	上野 隆子
サークル・シュガー	石川県 金沢市	杉森 富志子
おはなしグループどんぐり	山梨県 甲斐市	大島 純子
甲斐市立敷島図書館ボランティア	長野県 飯田市	永井 祐子
ライライの会	岐阜県 下呂市	上原 恵子
子ども本研究会	静岡県 田方郡 函南町	岩城 まゆみ
朗読ボランティア「糸でんわの会」		
音読グループ「つくし」		

法人 読書推進運動協議会より賞状および副賞(図書カード2万円分)を、各道府県読書推進運動協議会を通じて贈呈いたしました。各グループの活動状況は、1月号以降、本紙上で逐次紹介していきます。

この優良読書グループ表彰は、1968年 第22回「読書週間」から実施しており、本年までの表彰グループ数は1915の数です。
なお、副賞の図書カード2万円分のうち1万円分は、例年同様、日本図書普及株式会社の協賛により寄贈されたものです。同社の協力に厚くお礼申しあげます。



優良読書グループ名

優良読書グループ名	所在地	代表者(世話人)名
常盤読書グループ 松葉会	滋賀県 草津市	馬場 紀久子
おはなしの森	京都府 相楽郡 精華町	安本 栄子
有田川町こども司書	和歌山県 有田郡 有田川町	川村 竜央
おはなしろうそくの会	鳥取県 鳥取市	田中 久留美
波積絵本の読み聞かせの会	島根県 江津市	井田 晴子
西大寺子どもライブラリークラブ	岡山県 岡山市	時實 達枝
(選考中)	広島県	
おはなしの森	徳島県 那賀郡 那賀町	藤田 示子
図書館ボランティア「おおぼこ」	香川県 綾歌郡 綾川町	中浦 愛子
えほんとわらべうた	福岡県 太宰府市	望月 美智子
プチ・ぶちおち	佐賀県 武雄市	梅崎 登代子
おはなしトントン	長崎県 諫早市	関山 恵美子
諫早おはなしの会	熊本県 天草市	佐々木 明子
ななつの子の会	大分県 大分市	渡辺 繁治
DANバナネ団	宮崎県 児湯郡 川南町	落合 洋子
さざんか童夢	鹿児島県 鹿屋市	富松 ひろみ
申良小学校読み聞かせグループ	鹿屋市	
こころのしずく	沖縄県 糸満市	大城 ひかる
糸満市図書館友の会		(以上35グループ)

■絵本ワールドinひょうご2022

会場はお寺！ 絵本とお寺で癒やしの時間

10月8日(土)、兵庫県神戸市、平敦盛ゆかりの須磨寺で、「絵本ワールドinひょうご2022」(主催 兵庫県書店商業組合)が開催された。

須磨寺・青葉殿の講堂・ホールの特設会場には、ロングセラーから最新刊まで、100冊以上の絵本が展示され、多くの親子連れが本を手にとって、買い求めている。

会場では、「絵本カバーで作るエコバッグ」「身近な紙で折形を作る」「オリジナル缶バッジ製作」「手作りスクイーズキットでパンケーキを作ろう!!」「ぬりえクラ



かなざわまゆゆ子さん、青山友美さん、山本孝さん、3人そろってのサイン会

フトブックコーナー」「いろいろぼうからの挑戦状」激ムズえさがしチャレンジ』『身近なアリエんさくブック』を使って須磨寺のありを特定しよう! など、さまざまなワークショップのブースが出て、参加者が工作や塗り絵などを楽しんだ。

また、ぞうのエルマーの巨大ぬいぐるみとの撮影会や紙芝居、講談社 全国訪問おはなし隊」による読み聞かせなどのイベントも行われた。おはなし隊の2回の公演では、おおせいの子どもたちを前に、おはなし隊隊長が『ころころパンダ』『ゆらゆらパンダ』『バナナ』『ゴリラさんは』『た』『あげ』『ハコフグのねがい』『もったいな

いばあさんのいただきます』など、各回7冊の絵本を読んだ。
このほか、山本孝さん、青山友美さん、かなざわまゆゆ子さんといった、神戸市在住の作家の原画展と、サイン会も行われ、一日中にぎやかな絵本イベントとなった(大人向けの絵本イベント「えほん寺ピ」)との同時開催。

■絵本ワールドin京葉2022

大学主催の絵本ワールド！ 東京と千葉の2キャンパスで開催

10月8日(土)、9日(日)に、東京都千代田区の城西国際大学東京紀尾井町キャンパスで「絵本ワールドin京葉2022」が開催された。

こちらの絵本ワールドは、通常とは異なり、地域の幼稚園・保育園児、小学生、保護者、一般客を対象に、城西国際大学の行事として開催されるユニークなもの。

同大福祉総合学部福祉総合学科学科の学生15名とメディア学部メディア情報学科学科の学生35名が、企画・運営にあたって実現した読書推進イベントで、会場には彼らの若さと熱意があふれるものとなった。



読み聞かせに加え、しかけ絵本ワークショップも学生たちが担当

8日には同キャンパス1号棟の地下ホールで、絵本作家でエッセイストの村上康成さんの講演会「絵本は愉し。自然の歌をききなから……」が開催され、絵本作家としての世界観が語られた。

翌9日には、同キャンパス3号棟のラーニングスペースで、福祉総合学科学科の学生による、絵本の読み聞かせが5回にわたって行われた。

また同じ会場では交代で、メディア情報学科学科の学生が、「しかけ絵本」ワークショップを7回開催し、参加者に工作を指導した。

さらに会場では、学生たちが「わかった!」「愛」「映像化した本」の3テーマで選書した絵本や児童書約300冊が、特別価格で販売され、来場した親子連れが買い求めている。

なお「絵本ワールドin京葉2022」は、11月5日(土)、6日(日)に、千葉県と同大東金キャンパスで行われる「城西国際大学大学祭」の中でも開催されることになっている。

■第54回出版功労者顕彰会

3年ぶりの現地開催 18名を顕彰

10月7日(金)正午に、箱根芦ノ湖畔の箱根ホテルで、長く出版界の発展に貢献してこられた物故者を顕彰する「出版平和堂 第54回出版功労者顕彰会」が行われた。

今回はコロナ下で開催できなかった第52回、第53回も含め、新たに18名が顕彰された。

当日は雨天のため、先に出版平和堂への参拝を済ませ、室内での式典となった。

野間省伸・日本出版クラブ会長の挨拶、矢幡秀治・日本書籍商業組合連合会会長による新顕彰者名奉告、堀内丸恵・日本雑誌協会理事長による献詞奉読に続き、参列者全員が花を捧げ、奥村景二・日本出版取次協会副会長が感謝のこ

とばを述べて、会を締め切った。引き続き、和やかに昼食会が行われた。



献花をする日本出版クラブ・野間会長

■第15回高橋松之助記念 各賞発表

立場を越えての連携、協力で進める
読書活動が受賞

10月24日(月)東京都千代田区の出版クラブで、「高橋松之助記念」朝の読書大賞、『文字活字文化推進大賞』贈呈式が行われた(主催 公益財団法人 高橋松之助記念顕彰財団)。「朝の読書大賞」では佐賀県と和歌山県は初受賞、「文字・活字文化推進大賞」で埼玉県は初受賞となった。

いづれも賞状、トロフィーおよび副賞30万円が贈られた。

【第15回 朝の読書大賞】
・嬉野市立久間小学校(佐賀県嬉野市)
5年生に贈られる「校長先生の



今年受賞者のみなさん

バスデーブックプレゼント」など、地域・家庭・自治体と連携しながらの活動が高く評価された。

・高崎市立第一中学校(群馬県高崎市)

生徒全員参加の「ビブリオバトル」、3年生による「卒業生が残すイチョシ本POP」など、さまざまな活動が、継続的に行われている点が高く評価された。

・和歌山県立田辺中学校・高等学校(和歌山県田辺市)

各教科の教員が作成する「推薦図書30選」や、「高校生よみかたりボランティア養成講座」など、学校全体での取り組みが高く評価された。

【第15回 高橋松之助記念 文字・活字文化推進大賞】

・三郷市教育委員会(埼玉県三郷市)

「日本一本とふれあえるまち」をキャッチフレーズに、3つの取り組みを組み合わせた「ふれあいたいライアングル事業」の展開が、高く評価された。

■出版界、書店がイベント開催

「BOOK MEETS NEXT」イベント開催、
「本の日」はブックカバー大賞発表

10月27日(木)から始まった読書推進キャンペーン「BOOK MEETS NEXT」(11月23日(初)まで)のオープニングイベントが、同日、東京都新宿区の紀伊國屋ホールで開催された。

記念講演会は、作家 今村翔吾さんの「本の旅」。自身も書店を経営する今村さんは、直木賞受賞のお礼として全国の書店・学校を行動したエピソードなどを紹介し

■オトバンク ユーザーイベント開催

オーディオブックの普及と
ユーザーとのふれあいの場に

オーディオブック配信サービスを展開する株式会社オトバンクは、10月23日(日)、東京都台東区のHYPERMIX 門前仲町で、ユーザーイベント「オーディオブックミートアップ」を開催した。

第一部では、ユーザーが選ぶ「オーディオブック大賞2022」の発表。聴き放題部門、ビジネス部門、文芸部門それぞれで大賞と準大賞が選ばれた。ビジネス部門

219作品の応募があった。大賞は卯月小春さん(神奈川県伊豆市)が受賞、そのほか、デザイン・美術系雑誌4誌の編集長賞がそれぞれ贈られた。大賞作品は、「本の日」限定ブックカバーとして、参加書店で配布される。

「本の日」実行委員会では11月1日(火)、メインイベント「けんごさんと本トーク。本と読書と本屋さん」と、YouTubeでライブ配信。若い世代に人気の小説紹介クリエイターけんごさんと、担当編集者、現役書店員がトークを交わし、スペシャルゲストとして作家の青柳碧人さんも登場した。

Oさんをゲストに、さくらももこ『ものかんづめ』(集英社文庫)のオーディオブック制作秘話を、オーディオブックディレクターの伊藤誠敏さんが紹介。同書のナレーターを務めたTARAKOさんは、「ももこちゃんの世界に自分が入って表現できるのか怖かったけど、やりたい気持ちが勝ちました」などと語り、『ものかんづめ』より「極楽通い」の一章を朗読した。

第三部では、ユーザーからの質問に、制作スタッフが回答。オーディオブックにする本の選び方などが紹介された。



掲示だけでなく、こんな使い方も！
(小矢部市立大谷中学校)



ハロウィン飾りと一緒に展示してくれる学校もあります
(西宮市立西宮高等学校)

展示してくれてありがとう！

～読書週間ポスター展示 in 学校図書館+α～

昨年掲載して好評だった
「読書週間」ポスター in 学校図書館。
今年は、素材集データの活用例や、
町の喫茶店での写真もご紹介します！



当会 HP でデータを配布しているしおり。きれいに
コーティングしてくれました (東京都立西高等学校)



図書館入口は掲示の定番？多くの生徒を館内へ
誘ってほしいです (東京都立西高等学校)

「図書館だより」にマークとロゴを使って
くれました (東京都立白鷗高等学校)

ポスターだけでなく、素材集のデータも活
用していただき、ありがとうございます。
素材集は今後も、「こどもの読書週間」と
もども公開しますので、「こんなのがあった
らいいな」などご意見、お待ちしております！



読書好きが集まる大阪市北区のコーヒー専門店「ハライン」では、
過去の読書週間ポスターデータを活用してくれました



ポスターを SNS に投稿してくれると
ころも増えています！(大阪信愛学院)

2023年は「全国読書グループ調査」の年です！

図書館・類縁機関のみならず、ご協力をお願いいたします

公益社団法人読書推進運動協会は、5年に一度「全国読書グループ調査」を実施しており、2023年は調査実施年にあたります。2023年度調査は、11回目となります。

この調査は、全国公共図書館協議会の全面的な協力をいただき実施し、全国の図書館・類縁機関より、把握されている読書グループをご報告いただくものです。前回、2018年度調査での読書グループ数は1万1452となっており、

2023年度は、2018年度調査の回答をもとに、図書館・類縁機関別に調査記入票（紙、またはデータ）を用意し、9月～10月にかけて各都道府県立図書館および読書推進運動協議会を通じて管内の公共図書館・類縁機関にお送りいたします。ご回答いただくのは10月～11月を予定をしております。

調査対象とする読書グループの



2018年度読書グループ調査（都道府県別集計表）

都道府県	調査対象	調査対象数							
北海道	1	1	1	1	1	1	1	1	1
青森県	1	1	1	1	1	1	1	1	1
岩手県	1	1	1	1	1	1	1	1	1
秋田県	1	1	1	1	1	1	1	1	1
山形県	1	1	1	1	1	1	1	1	1
宮城県	1	1	1	1	1	1	1	1	1
福島県	1	1	1	1	1	1	1	1	1
茨城県	1	1	1	1	1	1	1	1	1
栃木県	1	1	1	1	1	1	1	1	1
群馬県	1	1	1	1	1	1	1	1	1
埼玉県	1	1	1	1	1	1	1	1	1
千葉県	1	1	1	1	1	1	1	1	1
東京都	1	1	1	1	1	1	1	1	1
神奈川県	1	1	1	1	1	1	1	1	1
新潟県	1	1	1	1	1	1	1	1	1
富山県	1	1	1	1	1	1	1	1	1
石川県	1	1	1	1	1	1	1	1	1
福井県	1	1	1	1	1	1	1	1	1
山梨県	1	1	1	1	1	1	1	1	1
長野県	1	1	1	1	1	1	1	1	1
岐阜県	1	1	1	1	1	1	1	1	1
静岡県	1	1	1	1	1	1	1	1	1
愛知県	1	1	1	1	1	1	1	1	1
岐阜県	1	1	1	1	1	1	1	1	1
三重県	1	1	1	1	1	1	1	1	1
滋賀県	1	1	1	1	1	1	1	1	1
京都府	1	1	1	1	1	1	1	1	1
大阪府	1	1	1	1	1	1	1	1	1
兵庫県	1	1	1	1	1	1	1	1	1
奈良県	1	1	1	1	1	1	1	1	1
和歌山県	1	1	1	1	1	1	1	1	1
徳島県	1	1	1	1	1	1	1	1	1
香川県	1	1	1	1	1	1	1	1	1
愛媛県	1	1	1	1	1	1	1	1	1
高知県	1	1	1	1	1	1	1	1	1
福岡県	1	1	1	1	1	1	1	1	1
佐賀県	1	1	1	1	1	1	1	1	1
長門県	1	1	1	1	1	1	1	1	1
熊本県	1	1	1	1	1	1	1	1	1
大分県	1	1	1	1	1	1	1	1	1
宮崎県	1	1	1	1	1	1	1	1	1
鹿児島県	1	1	1	1	1	1	1	1	1
沖縄県	1	1	1	1	1	1	1	1	1

活動内容は、①読書会、②研究会、③実演グループ、④文庫、⑤読書支援、⑥環境整備、⑦友の会、⑧連絡会の8つとし、複数の活動をされているグループについては、複数回答をお願いします。また、グループの活動場所（図書館、学校、公民館など）も複数回答いただくことで、ひとつひとつのグループの活動の広がりも把握したいと考えております。

調査結果は、2024年春に『2023年度 全国読書グループ総覧』として発行し、ご協力いただいたみなさまへお届けいたします。調査に協力するが、「総覧」への掲載は望まない図書館・グループのご意向も確認いたしますので、ご安心ください。

全国の図書館・類縁機関のみならず、ご協力をお願いいたします。また、この調査に関するご意見や質問などございましたら、ぜひ、事務局までお寄せください。

事務局報告（10月）

- ☆3日 文部科学省総合政策局に「野間読書推進賞贈呈式」祝辞依頼
- ・3日 「T野の森親子ブックフェスタ2022」収支決算書出来、会計監査を依頼、承認
- ☆4日 日本図書普及株式会社「第76回 読書週間」事業打ちあわせ
- ☆5日 機関紙「読書推進運動」第65号本紙・別冊入稿
- ☆6日 出版クラブと「野間読書推進賞贈呈式」打ちあわせ
- ☆6日 機関紙「読書推進運動」第69号本紙・別冊入稿
- ☆6日 全国公共図書館協議会へ「2023年度 全国読書グループ調査」実施について協力お願い
- ・6日・7日 第108回 全国図書館大会 群馬大会に参加（オンライン）
- ・7日 第54回 出版平和堂・出版功労者顕彰会 に出席
- ・8日 総本ワールド in ひょうご2022 に出席
- ・9日 総本ワールド in 京葉2022 に出席
- ・11日 伊藤忠記念財団 子ども文庫助成「書簡審査完了」
- ☆12日 2023 若い人に贈る読書のすすめ「書目投票用リストを各事業委員にメール配信
- ☆14日 機関紙「読書推進運動」第69号本紙、別冊付録「第65回」ごもの読書週間 行事報告」2巻 出来
- ・15日 文部科学省に令和4年度「子供読書活動の推進等に関する調査研究」審査表を提出
- ・24日 第15回 高橋松之助記念 各賞贈呈式 に出席
- ☆25日 「若い人に贈る読書のすすめ」書目投票を集計・確認のち、選定結果を各委員へ通知
- ☆27日 11月9日 「2022年 第76回 読書週間」
- ☆27日 「2022年度 第3回 常務理事会」開催
- ☆28日 「2022 第64回」ごもの読書週間 行事報告を各後援団体に送付

編集部 & 事務局のひとこと

● 毎年、10月27日になると、Yahoo!の話題の上位に「読書週間」が入り、当協議会は大喜びしています。近年は「読書週間」のほかに「読書の日」もランクイン。時間帯によっては、こちらの方が上位にランクと盛んにSNSでつぶやかれています。だいたいみなさん、「読書週間の初日、読書の日」といった投稿です。ん？読書の日ってあった？

● 当協議会が「10月27日読書の日」と言ったことはありません。だれか言い出したのか、どこが定めたのか？気になる一方（情報募集中！）、なんとなく、自然発生した記念日？なのではと私は推察しています。

● この時期にいただくお問い合わせに、「読書の秋」の由来は？」があります。当協議会の回答は「じつはよくわからない。『灯火親しむの候』からの連想か、暑い夏が過ぎ、ゆつから本が読めるからなどの秋の気候から自然発生したフレーズでは？」です（初期読書週間の記録を見ても、「読書の秋だから読書週間」という記述はない）。きつと、「読書の日」も同じように生まれてきたのではないのでしょうか。読書という行為に心をよせる人が多いからこそと、ありがたく感じます。

● とはいえ、映画やドラマを倍速で見ると増えていくという時代、「週間」では長すぎるという民意もあられるのかと、少々心配です。どうか、一日、2週間にかぎらず、「読書習慣」につながるよう、これからも10月27日には「読書週間」「読書の日」とつぶやいてください！

（伸）